

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ふぁみりあ			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 12 月 20 日		～	令和 8 年 1 月 10 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発 11 世帯・放デイ 20世帯	(回答者数)	児発 11 世帯・放デイ 19 世帯 計30世帯
○従業者評価実施期間	令和 7 年 12 月 25 日		～	令和 8 年 1 月 10 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 3 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育室が広いので遊びごとにエリア分けして、余分なトラブルの元にならないよう配慮している。	・1階療育室(児童発達支援)はプレイマットを設置するなど利用児童にも視覚的に分かりやすいよう工夫している。 ・2階(放課後等デイサービス)では色分けしたプレイマットを敷き、遊びごとにエリア分けしたり、活動前に話を聞く場所を決めるなど、利用児童が自発的に行動しやすいよう工夫している。	・現在もすべての利用児童が分かりやすいよう視覚化した表記をしているが、今後は職員の声掛けで行動するのではなく、より自発的な行動を促せるように工夫していく。(見通しを持ち行動できるように表記をするなど)
2	・療育室の広さを活かした様々な活動ができるよう工夫している。 ・事業所敷地内にグラウンドがあり、のびのびと外遊びができる。	・月に2回程、外部に委託しスポーツインストラクターにスポーツ教室を開催している。 ・夏には外で水遊びをしたり、シャボン玉遊び、かけっこなど楽しく身体を動かしている。	・療育室が広いので、親子参加型のスポーツ教室やイベントを検討している。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・特別支援学校に通う利用児童が多いため、宿題がある公立小学校に通う利用児童の宿題をする環境を整える事が難しい。	・事業所には療育室以外にも部屋があるので別室で宿題に取り組めるように配慮したいが、宿題をする利用児童がごく少数のため、そこに職員を余分に割くことが難しい。	・職員配置に余裕がある時は別室で対応し、難しい場合は同じ療育室内に仕切りをして対応できるよう努めていく。
2	・支援計画に沿い、かつ質の高い療育を実現するには職員の個々のスキルアップが必要。	・障害の特性の理解を深めたり知識を深めるために研修システムを導入し、個々のレベルに合った研修プログラムを実施している。 ・外部研修にも順番に参加をしている。	・研修後には報告し議事録を作成してミーティングでも報告しているが、実際の状況と照らし合わせ事業所としてどう活かしていくのか掘り下げ、より良い支援に繋げていきたい。
3			

事業所名 放課後等デイサービス ふぁみりあ

公表日 年月日

利用児童

世帯数 20

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			1	・広々として明るい療育室なので過ごしやすそう	広さを活かした活動を今後も考えていきたいと思えます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2		3	・人数の事は分からないが、しっかり見られている	契約時には説明をしていますが面談の際にも法令に基づき適正な利用者数と職員配置を厳守しているとお伝えしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	1	3	・子どもにとってどうしたら分かりやすいか考えて個々に対応してくれている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			3		生活空間を清潔に保つ事はもちろん、空気清浄機や加湿器を設置し換気を行うなど感染症対策も心掛けています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2		1		専門的支援を実施したり、特性を理解した上で職員間で話し合いより良い支援が行えるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1		HPで公表しているプログラムはもちろん、それ以外にもお子様に応じた支援をしています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					お子様と保護者様のニーズに寄り添い適切と思える支援を作成できるよう心掛けています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1		1		計画の前に面談して作成し保護者様にご説明していますが、今後はより分かりやすい説明をしていきます。
適切な	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2		1		

支援の提供	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2		1	・イベントも様々あり、家では体験できないような事が出来て助かっている	ミーティングでお子様を楽しめる活動を考えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	6	8	・相手方の事もあり難しい問題だと思っている	今後、機会や要望があれば考えていきたいと思っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19				・丁寧に説明してもらいました。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	2	5	・子どもとの関わり方のアドバイスなどほしてもらって助かっている	今後、保護者交流の場を設ける予定です。研修の案内も随時お知らせしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19				・連絡帳や送迎の際に日々の様子を伝えて貰ったり、情報共有や情報交換してもらっている	今後もお子様の変化や状況など送迎時などで情報共有していき、問題や課題に連携して対応していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		1	1	・節目に行っている ・勉強面でアドバイスをしてもらい助かった ・不安や気があると相談にのってくれる	些細な事でも相談しやすい環境を作っている様努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1			・親の事にも気遣う言葉を掛けてもらい頑張ろうと思えた。 ・発達の事や接し方に悩み疲れたり育児に不安や孤独を感じている時に声をかけてくれた	今後もお子様だけでなく保護者様の気持ちに寄り添った支援を心掛けていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	6	5	・数年前、参観と保護者会があったが参加していない。機会があれば参加したい	今後、保護者が交流できる場や、イベントの親子参加などを企画し実施する予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1				相談があればすぐに対応できるよう今後も務めていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				・連絡帳や送迎時に情報共有や電話でも対応してくれている	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19						

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			1	各マニュアルを作成して定期的に研修を受けたり見直しを行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19				・定期的に避難訓練が行われ参加している 色々なケースを想定し今後も訓練をしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			1	置き去り防止装置の設置や登所時の点呼、外出時には点呼表を作成しています。定期的に職員の研修や話し合いもしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1			・小さなケガも毎回連絡があり、丁寧に対応してくれている 小さな怪我などでも当日中に経緯や原因などを説明するよう努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1			・通所をいつも楽しみにしていて帰宅後も笑顔で毎回充実している様子 笑顔で過ごせる環境作りを心掛けています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1			・とても楽しみにしている ・いつも嫌がらず通所して帰宅後も機嫌が良い
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2			・子どもにも親にも良くしてもらっています ・利用日の追加・変更・キャンセルの取り扱いについての対応に多少の不满がある ・いつも助けて貰っていて助かっている ご指摘があった事に対しては職員間で話し合い対応できるよう今後も努めていきます。

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ふあみりあ			公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	2	遊びでエリア分けしている。	注目行動が強い児童がいる場合は配置以上の職員が必要となる。 スペースは充分確保できているが広すぎて明確なエリア分け等の工夫をしてトラブルの芽を挿んでいく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	4	送迎が重なる時間帯など現場配置ではない児発管や指導員が送迎に出るなど、配置できる資格者が常に足りているよう気を付けている。	法的に必要な職員配置を徹底しているが、送迎が予定時間を超えた場合や想定外の事態（利用者のパニック等の対応があるなど）が起こると一瞬手薄になる事がある為、どう対応するかが課題。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	2	発語がない利用児童にもわかりやすいようにイラストなどで視覚化している。	バリアフリー化を進めているが事業所建物が2階建ての為、全てにおいての実現は難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1	メインの療育室とは別に部屋の用意がある。	気分が高揚した時やトラブル事、宿題などで別部屋を使用した方が良い時も人員に余裕がない場合は難しい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	1	振り返りや反省は頻繁にミーティング等で行っており改善点や変更点はノートに記録し、全職員の周知徹底を心掛けている。	非常勤職員は短時間勤務の職員もいるため全員参加は難しいので、別日で機会を設けている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		評価表をまとめた資料を閲覧後、ミーティングで話し合い改善できるように心掛けている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	9	現在行っていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	1	今年度から研修システムを導入し活用している。外部研修にも全社員が順番に参加できるような勤務体制を考えている。	学校の長期休みなどは朝から利用児童がいるため、研修参加に人員を割く事が難しい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15		作成、公表済み。	今後、定期的に精査し必要があれば更新していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15		保護者の面談を行い、利用児童の様子を実際に見た上で本人の思いもくみ取り、関わる職員全員と話し合い計画作成している。	・本人と保護者のニーズに相違がある場合、難しい。 ・アセスメント内容をより適したものに替えていく事も検討している。
	13 支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15		頻繁に行うミーティングで個々の問題や課題について常に話し合っている為、それも踏まえた上で情報を共有し今後の本人の為の計画をたてている。	
	14 支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1		支援計画を共有し計画に沿った支援を行うようにしているが、個々の能力（指導員歴が短い等）に差があり、難しい面もある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1		特記事項などは記録ノートや会議録で周知しているが日々の記録（行動記録など）詳細なものは課題が残る。
	16 支援計画にはガイドラインの「サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15		移行支援は相談支援事業所とも話し合い、学校からの要望もあれば行っている。地域連携は相手方の事もありなかなか実現は難しい。	家族支援や移行支援が必要だと考え保護者に持ち掛けても、必要ないのではないかとと言われてしまうと実現は難しい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15		定期的に話し合って決めている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		運動・音楽・制作の基本ベースは変わらないが、固定化されず利用児童が興味を引くよう話し合っている。	活動前のミーティングで内容を検討し調整している。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	利用児童に必要性があれば専門的支援計画を作成し支援している。	本人が嫌がる事を無理強いできないため、興味を引き活動を楽しめるよう工夫をしている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15		出来る限り頻繁に行っているが、職員全員で行う事は他の業務もあるため、徹底は難しい。情報共有と支援の方向性のすり合わせは毎日出来ている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	2	毎日、交代で休みを取っているため、ミーティング内容や問題・課題・支援の変更点など記録ノートを作成しているため、情報共有出来ている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	4	改善点や検証が必要な時は行っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15		期間内に適切に行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	14	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	2		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	2		医療機関との密な連携は実現は困難だが、出来る限り進めていきたい。
	28	学校や園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15		学校や園の送迎時や電話連絡等で情報共有し、重要な案件は訪問して会議をするなど対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	15		全利用児童が担当者会議を開催し情報共有していく事は難しいが、電話で必要な情報共有などは行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	5	事業所が主体となつては動いていないが求められれば、保護者の確認をした上で情報を開示している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	4	人員を割ける限り参加するよう努めている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	14		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	5	人員を割ける限り参加するよう努めている。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	1			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	7	保護者に利用児童の兄弟の問題や子育てに関して悩みがあれば対応するとお伝えしている。	・気軽に相談できる環境を今後考えていく必要がある。 ・研修の案内は今後も情報提供していく。	
（児 発）	36	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	3	持病やアレルギーがある利用児童には保護者に診断書や医師の指示所・処方箋の情報提供をしてもらい、支援について園や学校の協力が必要と思われる場合は連絡を取り情報共有し支援している。	保護者や相談支援事業所の協力の在り方でどこまで連携できるか左右される。
	37	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	4	関係機関連携を取り情報共有している。担当者会議が妥当と思われるケースは相談支援事業所に働きかけるなど対応し支援の連携を取るよう心掛けている。	
	38	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	3	出来る限り連絡を取り合い事業所としての支援内容や問題・課題等情報共有している。	
保護者への説明等	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		契約時に細かく説明しており、疑問があればその都度機会を設けて対応している。	
	40	サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	1		
	41	「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15			
	42	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		直接相談の申し出がなくても送迎対応時などに保護者の様子に変化があれば声掛けをして悩みを聞いたり助言などの家族支援もしている。	
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	10	以前は親子参観や保護者同士の交流の場を設けていたが、職員の入れ替わりや人員に余裕がなく現在は開催できていない。	今後、開催を検討している。
	44	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		苦情窓口を周知し、職員は要望や苦情に対して即時報告し情報共有して苦情受付担当者がすぐに対応している。	
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15		今までもHPで療育内容や活動内容を発信していたが、療育支援システムを導入したので今後は更に保護者からの連絡や要望に応じていけるよう努めていく。	
	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	47	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15			
	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	3	12	近隣の清掃や除草などを行っている。	地域と関わり社会の一員として将来生活する為にも、地域住民との交流は重要なので今後検討していきたい。
49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	定期的に各マニュアル内容をミーティング時に話し合い見直し修正し、訓練も実施している。		

非常時等の対応	50	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		地震・火災・水害の避難訓練や2次避難場所へ利用児童と歩き確認している。	
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15		保護者には医療機関にかかったら情報提供をお願いし、服薬の有無や処方箋を開示してもらったり、持病のある利用児童は定期的に状況を確認している。	
	52	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15		アレルギーの有無を定期的に確認し職員全員に周知している。	
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	1	定期的にマニュアルを確認し話し合いや研修を対応している。	
	54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1		
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		ヒヤリハット報告書もその都度話し合い周知し対策などを検討している。	
	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15		定期的に外部研修に参加し内容をミーティングで話し合っている。	
	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	1	万が一、身体拘束を行う時は事前に報告する事や方法や手順などマニュアルも読み合せている。	

事業所名	児童発達支援 ふぁみりあ
------	--------------

公表日 _____ 年 ____ 月 ____ 日

利用児童数 11

回収数 11

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				・事業所敷地内にグラウンドや砂場があり、夏には水遊びもできて充実していると思う ・歩行が不安定な子だがケガもなく活動できている	事業所内で安心して楽しく過ごせるよう今後も務めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9			2		契約時には説明をしていますが面談の際にも法令に基づき適正な利用者数と職員配置を厳守しているとお伝えしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			2		プレイマット設置や遊びによってエリア分けするなどお子様にも分かりやすいように工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1		生活空間を清潔に保つ事はもちろん、空気清浄機や加湿器を設置し換気を行うなど感染症対策も心掛けています。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				・発達がゆっくりな子だが配慮してもらい通所でできている	専門的支援を実施したり、特性を理解した上で職員間で話し合いより良い支援が行えるよう努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					HPで公表しているプログラムはもちろん、それ以外にもお子様に応じた支援をしています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					お子様と保護者様のニーズに寄り添い適切と思える支援を作成できるよう心掛けています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1		計画の前に面談して作成し保護者様にご説明していますが、今後はより分かりやすい説明をしていきます。

適切な支援の提供	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			3		ミーティングでお子様を楽しめる活動を考えています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	2	2	・参加した事がないため分からない	今後、機会や要望があれば考えていきたいと思っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	4	1	・家族参加活動に参加した事がないため分からない	今後、保護者交流の場を設ける予定です。研修の案内も随時お知らせしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1				今後もお子様の変化や状況など送迎時などで情報共有していき、問題や課題に連携して対応していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1			・親の悩みにもアドバイスしてくれている	些細な事でも相談しやすい環境を作っていける様努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1			・成長した事を日々伝えてもらったりなど一緒に成長を見守ってくれている。	今後もお子様だけでなく保護者様の気持ちにも寄り添った支援を心掛けていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	4	2	・保護者同士の交流の機会や兄弟向けの行事がある と良い	今後、保護者が交流できる場や、イベントの親子参加などを企画し実施する予定です。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					相談があればすぐに対応できるよう今後も務めていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				・連絡帳にその日あった出来事を書いてくれる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			1		各マニュアルを作成して定期的に研修を受けたり見直しを行っています。 今後は保護者様も交えて引き取り訓練など、もしもの時に備えた訓練も設けていきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11					色々なケースを想定し今後も訓練をしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					置き去り防止装置の設置や登所時の点呼、外出時には点呼表を作成しています。定期的に職員の研修や話し合いもしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					小さな怪我等でも当日中に経緯や原因などを説明するよう努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					笑顔で過ごせる環境作りを心掛けています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11					楽しく活動に参加できるよう努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					ご指摘があった事に対しては職員間で話し合い対応できるよう今後も努めています。